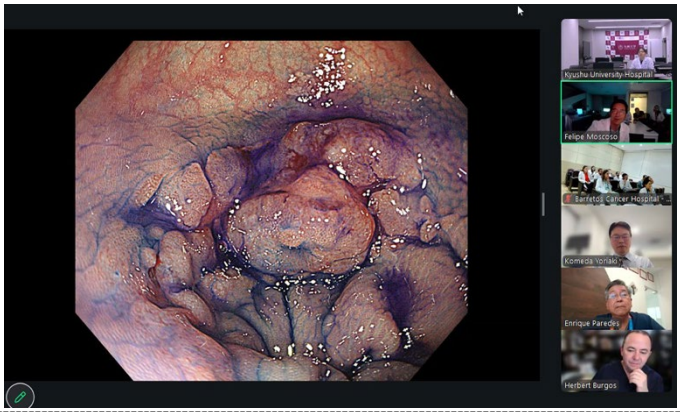
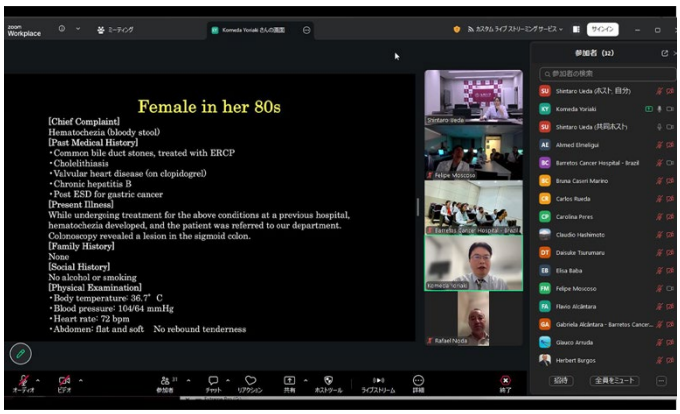
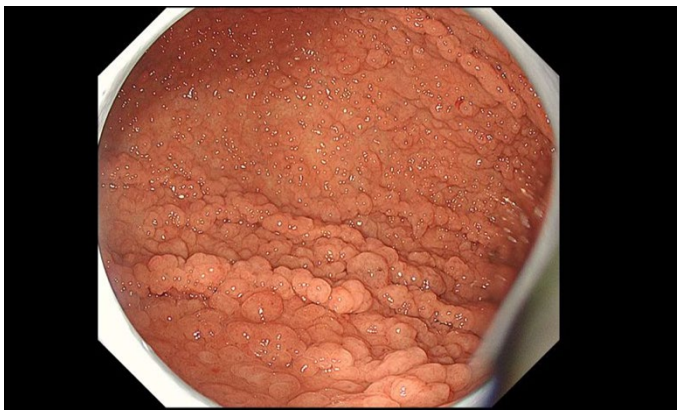
#2132

2026.03.26

第38回 ラテンアメリカテレカンファレンス

【参　加　施　設】	【概　要】
九州大学病院（日本），アレマナ病院，チリ国立がんセンター，パードレ・ウルタド病院（以上チリ），コスタリカ ガストロクリニカ（コスタリカ），メキシコ国立医学・栄養センター（メキシコ），サンパウロ大学 医学部臨床病院，連邦直轄区 バーゼ病院（以上ブラジル），福岡大学筑紫病院，大阪国際がんセンター，近畿大学（以上日本），ノッサ・セニョーラ・ダス・グラッサス病院，バレトス アモール病院（以上ブラジル），エドガルド レバグリアティ マーティンス国立病院（ペルー）他７施設	今回のカンファレンスでは近畿大学と大阪国際がんセンターから、それぞれ大変興味深い形態を呈した貴重な症例が提示された。いずれの症例も、美麗な内視鏡写真を基に、参加者から多くの意見が出て、充実した討論がなされた。参加者全員が、正しい診断に到達することよりも、細かな内視鏡所見を拾い上げて正しく評価し、全員で意見を出し合うことの重要性を認識できた、とても素晴らしい症例検討会となった。
	
モニタに表示される接続施設 撮影場所：九州大学病院	提示されたスライド 撮影場所：九州大学病院
	
提示されたスライド 撮影場所：九州大学病院	提示されたスライド 撮影場所：九州大学病院
	
提示されたスライド 撮影場所：九州大学病院	提示されたスライド 撮影場所：九州大学病院